



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月3日

上場会社名 山崎製パン株式会社
 コード番号 2212 URL <http://www.yamazakipan.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯島 延浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 吉田 輝久

TEL 03-3864-3110

四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	508,652	4.2	12,900	23.9	13,573	23.2	3,991	△45.6
26年12月期第2四半期	488,368	3.1	10,414	△12.0	11,013	△13.0	7,342	37.0

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 13,031百万円 (51.5%) 26年12月期第2四半期 8,602百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	18.19	—
26年12月期第2四半期	33.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	677,052	281,925	38.3
26年12月期	702,049	268,318	35.0

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 259,355百万円 26年12月期 245,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	16.00	16.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,024,000	2.9	26,000	24.5	27,000	18.6	9,500	△21.2	43.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料4ページ「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	220,282,860 株	26年12月期	220,282,860 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	827,170 株	26年12月期	812,970 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	219,463,708 株	26年12月期2Q	219,480,908 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

なお、第2四半期決算短信補足説明資料の6ページにセグメント別の売上高及び営業利益の予想を記載しております。

当社は、平成27年8月6日(木)に機関投資家及び証券アナリスト向け四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、企業収益が改善し設備投資が持ち直すなど緩やかな回復基調で推移しました。個人消費につきましては、消費税増税の影響が一巡して持ち直しの兆しが見えてまいりましたが、回復のペースは緩慢なものとなりました。

当業界におきましては、お客様の節約志向が続く中で販売競争が激化するとともに、円安による輸入原材料価格の上昇により収益が圧迫される厳しい経営環境となりました。

このような情勢下において、当社グループは品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の拡販をはかるとともに、高品質・高付加価値戦略を推進するなど、市場動向に即応した部門別製品施策、営業戦略を推進してまいりました。また、製品アイテム数を適切な水準に管理して生産面の効率化や物流費の抑制をはかるとともに、品質訴求の販売活動によって販売促進費を削減しつつ売上拡大をめざしました。

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、当社グループの総力をあげて「ヤマザキベストセレクション」を中心にパン、和洋菓子、調理パン、米飯、麺類の品質向上に取り組むとともに、店舗での品揃えの充実をはかり、「春のパンまつり」などのキャンペーンを活用して来店客数と店舗売上の増加をめざしました。また、重点管理店を選定し、デイリーヤマザキのリージョンと各工場が一体となって店舗運営の改善を推進するとともに、店舗改装に取り組み既存店の活性化をはかりました。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は5,086億52百万円（対前年同期比104.2%）、営業利益は129億円（対前年同期比123.9%）、経常利益は135億73百万円（対前年同期比123.2%）となりました。四半期純利益は39億91百万円（対前年同期比54.4%）で、前年同期において厚生年金基金代行返上益を特別利益に計上したことや、税制改正に伴う繰延税金資産の取崩による影響で税負担が増加したこともあり減益となりました。

セグメント別の状況

<食品事業>

食品事業の主要製品別の売上状況は次のとおりであります。

①食パン部門（売上高488億6百万円、対前年同期比100.7%）

食パンは、品質とおいしさを訴求し売場づくりを推進した主力の「ロイヤルブレッド」が大きく伸長して食パン部門を牽引し、前年同期の売上を上回りました。

②菓子パン部門（売上高1,777億25百万円、対前年同期比105.5%）

菓子パンは、「厳選100品」を中心に主力製品が好調に推移するとともに、新製品を計画的に投入した「おいしい菓子パン」シリーズやコンビニエンスストア向けのドーナツが伸長するなど、大幅な売上増となりました。

③和菓子部門（売上高329億57百万円、対前年同期比102.3%）

和菓子は、串団子やまんじゅうが順調に推移するとともに、「北海道チーズ蒸しケーキ」などの蒸しパンが伸長し、売上は順調でした。

④洋菓子部門（売上高666億43百万円、対前年同期比109.4%）

洋菓子は、「プレミアムスイーツ」シリーズが大きく伸長するとともに、品質を向上した「まるごとバナナ」や2個入りケーキの売上が急速に回復しました。また、昨年4月1日に(株)不二家が連結子会社化した(株)スイーツガーデンの寄与もあり、売上は大きく伸長しました。

⑤調理パン・米飯類部門（売上高681億58百万円、対前年同期比101.4%）

調理パン・米飯類は、(株)サンデリカのコンビニエンスストアチェーンとの取引拡大もあり、売上は前年同期を上回りました。

⑥製菓・米菓・その他商品類部門（売上高783億34百万円、対前年同期比102.7%）

製菓・米菓・その他商品類は、(株)不二家の中国事業が伸長するとともに、ヤマザキ・ナビスコ(株)の「チップスター」や「エアリアル」などのスナックが好調に推移し、売上増となりました。

以上の結果、食品事業の売上高は4,726億26百万円（対前年同期比104.2%）、営業利益は134億14百万円（対前年同期比123.0%）となりました。

＜流通事業＞

デイリーヤマザキのコンビニエンスストア事業につきましては、「デイリーヤマザキ」加盟店の減少によりロイヤリティ収入が減少しましたが、4月以降、既存店売上が回復基調に転じたことに加え、直営店の増加による増収効果があり、営業総収入は313億64百万円（対前年同期比103.5%）となりました。一方では、直営店の増加に伴うコスト増もあり、営業損失は13億38百万円（前年同期は15億5百万円の営業損失）となりました。

＜その他事業＞

その他事業につきましては、売上高は46億60百万円（対前年同期比104.3%）、営業利益は5億37百万円（対前年同期比83.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は6,770億52百万円で、前連結会計年度末に対して249億96百万円減少しました。流動資産は2,348億30百万円で、受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に対して248億3百万円減少しました。固定資産は4,422億22百万円で、投資有価証券が増加しましたが、税制改正に伴う法定実効税率引き下げ等による繰延税金資産の減少もあり、前連結会計年度末に対して1億92百万円減少しました。負債合計は3,951億26百万円で、前連結会計年度末に対して支払手形及び買掛金の減少や退職給付会計基準の改正に伴う退職給付に係る負債の減少等もあり386億3百万円減少しました。純資産は2,819億25百万円で、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に対し136億6百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は38.3%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益122億37百万円に加え、減価償却費178億77百万円、売上債権の減少額248億21百万円などにより351億99百万円のプラスとなりました。前年同期に対しては法人税等の支払額増加などにより98億56百万円収入が減少しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得などにより181億6百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては19億50百万円支出が増加しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済、配当金の支払などにより153億87百万円のマイナスとなり、前年同期に対しては22億31百万円支出が増加しました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は1,139億99百万円となり、前連結会計年度末残高に対しては18億17百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、緩やかな景気の回復基調が継続し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が持ち直していくことが期待されます。

当業界にありましては、卵、油脂、小豆類などの原料価格の上昇に加え、4月の輸入小麦の政府売渡価格引上げを受けて業務用小麦粉が値上げされ、下半期は収益環境の厳しさが増すことが予測されます。

このような状況下にあります、当社は、下半期に予想される原料費の上昇を吸収し、引き続き高品質で安全・安心な製品を提供するため、7月1日出荷分より一部製品を値上げするとともに規格改定を実施しました。お客様の節約志向が続き販売競争が激化する中、市場動向を注視しつつ一つひとつ丁寧に対応してまいります。また、引き続き品質向上と新製品開発に積極的に取り組み、「厳選100品」を中心とした主力製品の取扱拡大をはかるとともに、高品質・高付加価値戦略を推進するなど、生産・営業が一体となって部門別製品施策、営業戦略を推進し、業績向上をめざしてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績の状況と今後の収益環境等を踏まえ、平成27年2月10日公表の平成27年12月期通期の連結業績予想を次のとおり修正いたします。

平成 27 年 12 月期通期の連結業績予想の修正 (平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,012,000	26,000	27,000	9,500	43.28
今回修正予想 (B)	1,024,000	26,000	27,000	9,500	43.29
増減額 (B-A)	12,000	—	—	—	—
増減率 (%)	1.2	—	—	—	—
(ご参考)前期連結実績 (平成 26 年 12 月期)	995,011	20,876	22,770	12,048	54.90

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第 26 号 平成 24 年 5 月 17 日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第 25 号 平成 24 年 5 月 17 日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第 35 項本文及び退職給付適用指針第 67 項本文に掲げられた定めについて第 1 四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第 37 項に定める経過的な取扱いに従って、当第 2 四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第 2 四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が 222 百万円増加し、退職給付に係る負債が 6,347 百万円減少するとともに、利益剰余金が 4,340 百万円増加しております。なお、当第 2 四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律」及び「地方税法等の一部を改正する法律」が平成 27 年 3 月 31 日に公布されたことに伴い、当連結会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算 (ただし、平成 28 年 1 月 1 日以降解消されるものに限る) に使用した法定実効税率は、前連結会計年度の 35.4% から、回収又は支払が見込まれる期間が平成 28 年 1 月 1 日から平成 28 年 12 月 31 日までのものは 32.9%、平成 29 年 1 月 1 日以降のものについては 32.1% にそれぞれ変更されております。

この結果、繰延税金資産の純額が 2,125 百万円減少し、当連結会計年度に計上された法人税等が 2,350 百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,879	117,853
受取手形及び売掛金	105,471	81,101
商品及び製品	11,479	10,868
仕掛品	727	742
原材料及び貯蔵品	9,889	8,680
繰延税金資産	3,523	3,300
その他	13,116	12,883
貸倒引当金	△452	△598
流動資産合計	259,634	234,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	344,178	345,508
減価償却累計額	△257,802	△260,776
建物及び構築物(純額)	86,375	84,731
機械装置及び運搬具	447,290	451,241
減価償却累計額	△375,312	△380,333
機械装置及び運搬具(純額)	71,977	70,907
工具、器具及び備品	27,192	27,347
減価償却累計額	△23,573	△23,549
工具、器具及び備品(純額)	3,619	3,797
土地	116,068	116,032
リース資産	29,819	24,310
減価償却累計額	△17,921	△13,911
リース資産(純額)	11,897	10,398
建設仮勘定	5,816	9,456
有形固定資産合計	295,754	295,324
無形固定資産		
のれん	14,880	14,247
その他	12,107	11,149
無形固定資産合計	26,988	25,396
投資その他の資産		
投資有価証券	54,479	65,685
長期貸付金	551	507
退職給付に係る資産	271	468
繰延税金資産	32,059	23,676
その他	34,932	33,743
貸倒引当金	△2,623	△2,580
投資その他の資産合計	119,672	121,501
固定資産合計	442,415	442,222
資産合計	702,049	677,052

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	79,378	72,427
短期借入金	61,340	61,642
リース債務	4,568	4,024
1年内償還予定の社債	1,374	1,404
未払法人税等	7,655	6,746
未払費用	37,489	33,320
賞与引当金	4,108	4,604
販売促進引当金	633	501
店舗閉鎖損失引当金	10	3
資産除去債務	69	96
その他	43,721	34,600
流動負債合計	240,350	219,370
固定負債		
社債	2,271	1,554
長期借入金	53,695	45,081
リース債務	7,818	6,876
役員退職慰労引当金	3,513	3,504
環境対策引当金	238	233
退職給付に係る負債	111,589	104,856
資産除去債務	4,268	4,236
その他	9,984	9,413
固定負債合計	193,380	175,756
負債合計	433,730	395,126
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,014	11,014
資本剰余金	9,676	9,676
利益剰余金	228,556	233,377
自己株式	△826	△857
株主資本合計	248,420	253,210
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,126	24,299
繰延ヘッジ損益	18	△0
土地再評価差額金	44	81
為替換算調整勘定	△185	100
退職給付に係る調整累計額	△18,616	△18,335
その他の包括利益累計額合計	△2,613	6,144
少数株主持分	22,511	22,570
純資産合計	268,318	281,925
負債純資産合計	702,049	677,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	488,368	508,652
売上原価	311,651	325,850
売上総利益	176,716	182,801
販売費及び一般管理費	166,302	169,901
営業利益	10,414	12,900
営業外収益		
受取利息	66	65
受取配当金	520	534
固定資産賃貸料	288	287
持分法による投資利益	53	7
雑収入	732	638
営業外収益合計	1,662	1,532
営業外費用		
支払利息	727	677
雑損失	336	182
営業外費用合計	1,064	860
経常利益	11,013	13,573
特別利益		
固定資産売却益	22	51
投資有価証券売却益	640	—
厚生年金基金代行返上益	9,614	—
その他	19	—
特別利益合計	10,297	51
特別損失		
固定資産除売却損	950	689
減損損失	891	548
災害による損失	821	—
のれん償却額	1,544	—
その他	826	149
特別損失合計	5,032	1,387
税金等調整前四半期純利益	16,278	12,237
法人税等	8,792	8,123
少数株主損益調整前四半期純利益	7,485	4,113
少数株主利益	143	122
四半期純利益	7,342	3,991

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,485	4,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,109	8,198
繰延ヘッジ損益	△11	△17
為替換算調整勘定	26	339
退職給付に係る調整額	—	358
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	39
その他の包括利益合計	1,116	8,917
四半期包括利益	8,602	13,031
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,547	12,749
少数株主に係る四半期包括利益	54	282

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,278	12,237
減価償却費	18,637	17,877
減損損失	891	548
災害損失	821	—
のれん償却額	2,237	633
貸倒引当金の増減額(△は減少)	27	102
賞与引当金の増減額(△は減少)	517	495
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△9,229	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	1,499
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△37	△8
受取利息及び受取配当金	△587	△599
支払利息	727	677
投資有価証券売却損益(△は益)	△640	—
持分法による投資損益(△は益)	△53	△7
固定資産除売却損益(△は益)	927	638
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
売上債権の増減額(△は増加)	22,592	24,821
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53	1,911
仕入債務の増減額(△は減少)	△4,348	△7,159
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,973	△5,303
その他	△3,355	△5,944
小計	47,327	42,421
利息及び配当金の受取額	590	600
利息の支払額	△749	△703
法人税等の支払額	△2,111	△7,119
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,055	35,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	263	△135
有形固定資産の取得による支出	△15,785	△17,771
有形固定資産の売却による収入	163	109
無形固定資産の取得による支出	△817	△660
投資有価証券の取得による支出	△965	△523
投資有価証券の売却による収入	885	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△648	—
貸付けによる支出	△74	△20
貸付金の回収による収入	129	62
その他	692	833
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,156	△18,106

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	885	698
リース債務の返済による支出	△2,903	△2,656
長期借入れによる収入	2,600	900
長期借入金の返済による支出	△10,357	△9,998
社債の発行による収入	1,000	—
社債の償還による支出	△617	△687
自己株式の取得による支出	△5	△30
配当金の支払額	△3,509	△3,510
少数株主への配当金の支払額	△247	△102
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13,156	△15,387
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	112
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	15,746	1,817
現金及び現金同等物の期首残高	79,205	112,181
現金及び現金同等物の四半期末残高	94,952	113,999

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	453,584	30,316	4,467	488,368	—	488,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,955	3,456	13,987	19,399	△19,399	—
計	455,540	33,772	18,455	507,768	△19,399	488,368
セグメント利益又は損失(△)	10,904	△1,505	644	10,043	371	10,414

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額371百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	流通事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	472,626	31,364	4,660	508,652	—	508,652
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,568	3,451	14,734	20,754	△20,754	—
計	475,195	34,816	19,394	529,406	△20,754	508,652
セグメント利益又は損失(△)	13,414	△1,338	537	12,613	287	12,900

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額287百万円は、セグメント間取引の消去であります。

2 セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 連結販売実績

(単位：百万円)

セグメント名称	区 分	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)		比 較 増 減	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	前年同期比
食品事業	食 パ ン	48,472	9.9%	48,806	9.6%	333	100.7%
	菓 子 パ ン	168,468	34.5	177,725	34.9	9,256	105.5
	和 菓 子	32,215	6.6	32,957	6.5	741	102.3
	洋 菓 子	60,910	12.5	66,643	13.1	5,733	109.4
	調理パン・米飯類	67,214	13.8	68,158	13.4	944	101.4
	製菓・米菓・その他商品類	76,302	15.6	78,334	15.4	2,032	102.7
	食 品 事 業 計	453,584	92.9	472,626	92.9	19,042	104.2
	流 通 事 業	30,316	6.2	31,364	6.2	1,048	103.5
	そ の 他 事 業	4,467	0.9	4,660	0.9	192	104.3
	合 計	488,368	100.0	508,652	100.0	20,283	104.2

(2) 主要子会社実績

(単位：百万円)

	売 上 高				営 業 利 益			
	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率	前第2四半期	当第2四半期	増 減 額	増 減 率
(株)不二家(連結)	48,375	50,187	1,812	3.7%	△ 169	△ 331	△ 162	—%
(株)サンデリカ	44,382	49,650	5,268	11.9	637	704	66	10.4
ヤマザキ・ナビスコ(株)	17,746	19,117	1,371	7.7	1,189	1,700	511	43.0
(株)ヴィ・ド・フランス	16,345	16,663	317	1.9	359	553	193	53.8
(株)東ハト	12,474	12,357	△ 116	△ 0.9	614	224	△ 389	△63.4

(3) 平成27年12月期第2四半期の単体業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

① 単体経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	359,150	4.2	9,102	28.9	10,803	22.8	3,824	1.8
26年12月期第2四半期	344,672	9.1	7,062	△17.3	8,801	△17.9	3,756	△39.4

② 単体財政状態

	総資産	純資産
	百万円	百万円
27年12月期第2四半期	509,684	257,092
26年12月期	525,106	244,668

(注) 単体業績数値は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(4) 単体販売実績

(単位: 百万円)

期別 品 種 別	前第2四半期 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)		当第2四半期 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前年同期比
食パン	47,946	13.9%	48,306	13.5%	359	100.8%
菓子パン	157,034	45.5	164,958	45.9	7,923	105.0
和菓子	32,163	9.3	32,807	9.1	644	102.0
洋菓子	41,282	12.0	45,614	12.7	4,332	110.5
調理パン・米飯類	17,068	5.0	17,459	4.9	391	102.3
製菓・米菓・その他商品類	18,319	5.3	18,612	5.2	293	101.6
小計	313,815	91.0	327,759	91.3	13,944	104.4
デイリーヤマザキ事業	33,772	9.8	34,816	9.7	1,043	103.1
内部消去	△ 2,915	△ 0.8	△ 3,426	△ 1.0	△ 510	—
合計	344,672	100.0	359,150	100.0	14,477	104.2